

2014年6月議会の質疑と答弁をお知らせします

保育に格差を持ち込むな—公的保育の拡充を求める

子ども・子育て支援新制度について質問しました。概要は以下の通りです。

質問:無資格者の多い認可外保育施設での、死亡事故の発生件数が増えています。保育施設の種類に関係なく保育士を配置すべきだと、主張しました。

答弁:職員配置は、国の基準に基づき対応します。

質問:「子ども・子育て新支援制度」は未だ協議中のものがあり、自治体には内容が示されていません。国のスケジュールに従えば、今年度までには新制度に関わる基準や保育料などを条例で定め、市民や関係者に周知しなくてはなりません。混乱を招かないよう十分な審議を行い、徹底した周知を行うべきです。

答弁:時期を捉えて広報やホームページ等を活用し、利用者の皆様にわかりやすく丁寧な情報提供に努めます。

質問:福山市は10年間で14所の公立保育所を廃止・民営化しました。また「待

機児童ゼロ」としながら、実際は保育所定員の1.25倍も子どもを詰め込んでいます。保育の影響をどう考えているのか。また、子ども達が安心して過ごせる保育環境づくりや、保育士の多忙化解消の取り組みについて、質問しました。

答弁:保育所の入所定員の弾力的な運用について、保育所に係る設備及び運営に関する基準の枠内で対応しています。

質問:多くの働く親の望みは「認可保育所の拡充」です。公私立保育所の新設・増設あるいは定員の拡大で保育の確保に努めるべきです。

答弁:これまでも潜在保育士の掘り起こしに努めており、引き続き保育士確保に向け取り組みます。また、保育所再整備計画の着実な実施により、定員の拡充と環境整備を図ってきており、今後 新制度を活用する中で、より一層保育環境の充実に努めます。

安心して子どもを産み育てられる環境を整えよ

福山市が若い世代のくらしや子育てを支援するため、以下4点の施策を求めました。

(1)雇用の安定化 (2)女性労働者への正当な評価・活用 (3)若年層への低家賃住宅の供給 (4)子育てにかかる負担軽減。また、乳幼児等医療費助成制度について入院も通院も中学校卒業までに拡充を。

市の回答は、以下の通りです。

(1)子育てしやすい雇用の環境整備に向けて国が議論しており、その動向を注視する。本市も、若年層や女性にとって働きやすい環境整備が必要と考える。

(2)女性が働き続けられる社会に向け、産休・育休制度やワークライフバランス等の普及開発を関係団体と連携して取り組むとともに、資格取得や職

業訓練講座も実施している。引き続き女性が働きやすい環境整備に努める。

(3)本市住宅政策実施計画に定めているが、現時点では市営住宅見込需要数が見込供給数を上回っていないため、家賃補助制度の導入は検討しない。なお、市営住宅では子育て世帯向けの募集枠を設け、若年ファミリー世帯への支援をしている。

(4)保育料の多子軽減は すでに負担の軽減を図っている。「子ども・子育て支援新制度」で保護者負担のあり方が検討されており、現時点での拡大は考えていない。

乳幼児等医療費助成制度について、対象年齢の拡大は現段階では考えていない。国の制度として創設するよう、全国市長会を通じて要望している。

教育条件の整備を 全学校にエアコンの設置を求める

文部科学省の調査によると、広島県のエアコン設置率は19.7%(全国29位)でした。福山市の設置率は3.6%と、県内平均より遅れています。

近年は猛暑日が長く続き、エアコンのない教室は厳しい環境です。エアコンの設置と、必要経費の試算を示すことを求めました。

中学校完全給食の実現を

育ちざかりの中学生に栄養豊かな給食を提供することは、緊急課題です。中学校完全給食の実現を求め、保護者から12,924筆の要望署名が出されました。これについて教育長は、「学校教育環境検討委員会での、具体的な議論を注視していく」と述べました。

市は、「工事費用は約37億円。さらに電気料金等の維持管理費が必要」と答弁。また、「エアコンの設置は、教育環境整備を考える中で、検討する必要がある」と述べました。

市民の願いに応えるなら、一刻も早く実施を決断すべきです。

日本共産党は、子ども達が授業に集中し、安心して勉強できる教育条件の整備を求め、引き続きがんばります。



通学路の安全対策を一草戸町信号機増設

昨年度、通学路で子どもが巻き込まれる交通事故が66件発生しました。通学路の安全対策について質問しました。市は、「2012年度の緊急合同点検で、対策が必要と判断した174ヶ所中、159ヶ所は既に完了。引き続き通学路の安全確保に努める」と答えました。



〈議会報告〉
ご意見・ご要望を
お寄せ下さい。

日本共産党
福山市議会議員団



村井
あけみ

TEL.084-941-2366
FAX.084-941-2438
Eメール murai@f-jcp.com
ブログもご覧ください。

村井あけみの豆タンク奮戦記 検索



高木
たけし

TEL.084-972-6830
FAX.084-972-6830
Eメール takagi@f-jcp.com
ブログもご覧ください。

たけし通信 検索



土屋
ともりのり

TEL.084-957-2304
FAX.084-957-2401
Eメール tsuchiya@f-jcp.com
ブログもご覧ください。

土屋ともりのりのよまやまブログ 検索



河村
ひろ子

TEL.084-965-6049
FAX.084-962-1928
Eメール kawamura@f-jcp.com
ブログもご覧ください。

ひろ子ワールド 検索